



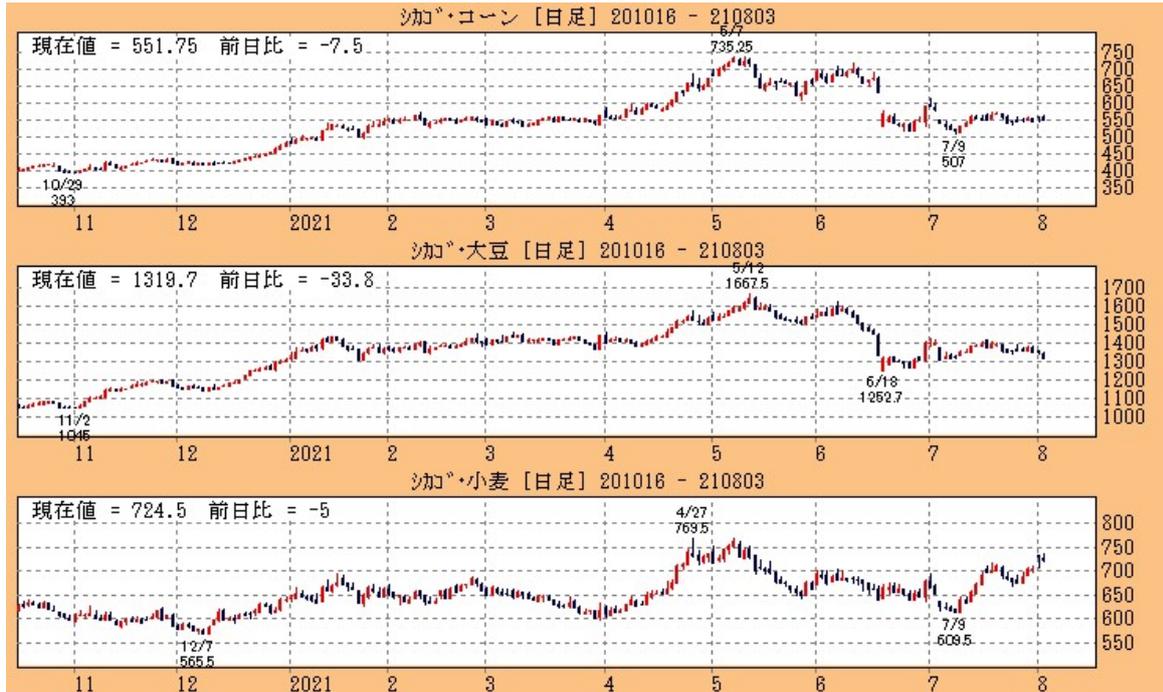
週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシ、大豆は反落

発行日 : 2021/8/4



3日のシカゴトウモロコシ12月限は前日比▲7.50セント安の551.75セントと反落。取引レンジは547.25～565.25セント。米農務省（USDA）が前日の取引終了後に発表したトウモロコシの作況指数は、前週から2ポイント低下し62%となり、事前予想を下回ったことから565.25セントまで上昇する場面もあったが、大豆が大幅安となったことから追随安となった。利益確定の売りも出た。ただ、作柄が悪化していることから下げ幅は限られた。

シカゴ大豆11月限は前日比▲33.75セント安の1319.75セントと大幅反落。取引レンジは1308.75セント～1348.00セント。米農務省（USDA）が前日の取引終了後に発表した大豆の作況指数は、2ポイント上昇し、60%となり、事前予想も上回ったことから売りが先行した。今後数週間で降雨の可能性が高まったとの予報も弱材料になった。一時、7月6日以来の水準まで下落し、下落幅は約1カ月ぶりの大きさとなった。安値では、米産地の乾燥した天候を警戒して買い戻され、終盤は1320セントを挟んでの小動きにとどまった。

シカゴ小麦9月限は前日比▲5.00セント安の724.50セントと反落。取引レンジは717.75～734.75セント。米農務省（USDA）が前日の取引終了後に発表した春小麦の作況指数は「優」「良」の占める割合が前週から1ポイント改善し10%となり、事前予想も上回ったことから売りが先行した。大豆が大幅安となったことも圧迫材料となった。

TOPICs Crop Progress

トウモロコシ			
	18州		
Silking	前年度	2020年度	過去5年平均
6月27日	4%	4%	6%
7月4日	9%	10%	14%
7月11日	26%	26%	30%
7月18日	55%	56%	52%
7月25日	79%	79%	73%
8月2日	91%	91%	86%

トウモロコシ			
	18州		
Dough	前年度	2020年度	過去5年平均
7月11日	3%	3%	3%
7月18日	8%	8%	7%
7月25日	20%	18%	17%
8月2日	37%	38%	33%

※ Dough Stage（ダフステージとは、コーン粒のミルク状の中身が徐々に柔らかい固まりになって行く過程のことで、この時期に早霜に襲われると、いわゆるソフトコーンになり大きな被害が出る）



大豆			18州
Blooming	前年度	2020年度	過去5年平均
6月20日	5%	5%	5%
6月27日	13%	14%	11%
7月4日	29%	29%	24%
7月11日	46%	46%	40%
7月18日	62%	63%	57%
7月25日	74%	76%	71%
8月2日	84%	86%	82%

大豆			18州
着サヤ	前年度	2020年度	過去5年平均
7月4日	2%	3%	3%
7月11日	10%	10%	10%
7月18日	23%	23%	21%
7月25日	40%	42%	36%
8月2日	57%	58%	52%

トウモロコシ							大豆						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良	作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月30日	1%	2%	20%	62%	14%	76%	6月6日	1%	5%	27%	57%	10%	67%
6月6日	1%	4%	23%	58%	14%	72%	6月13日	2%	6%	30%	53%	9%	62%
6月13日	1%	4%	27%	56%	12%	68%	6月20日	2%	7%	31%	51%	9%	60%
6月20日	1%	5%	29%	54%	11%	65%	6月27日	2%	7%	31%	50%	10%	60%
6月27日	2%	6%	28%	51%	13%	64%	7月6日	3%	8%	30%	49%	10%	59%
7月4日	2%	7%	27%	50%	14%	64%	7月11日	3%	8%	30%	49%	10%	59%
7月11日	2%	6%	26%	51%	14%	65%	7月18日	3%	8%	29%	49%	11%	60%
7月18日	2%	7%	27%	50%	15%	65%	7月25日	3%	9%	30%	47%	11%	58%
7月25日	3%	7%	26%	49%	15%	64%	8月2日	3%	9%	28%	48%	12%	60%
8月2日	3%	8%	27%	47%	15%	62%	前年度	1%	5%	21%	58%	15%	73%
前年度	2%	5%	21%	55%	17%	72%							

冬小麦			6州
Harvested (収穫)	前年度	2020年度	過去5年平均
6月6日	6%	2%	7%
6月13日	14%	4%	15%
6月20日	27%	17%	26%
6月27日	39%	33%	40%
7月4日	54%	45%	53%
7月11日	66%	59%	65%
7月18日	73%	73%	74%
7月25日	80%	84%	81%
8月2日	84%	91%	86%

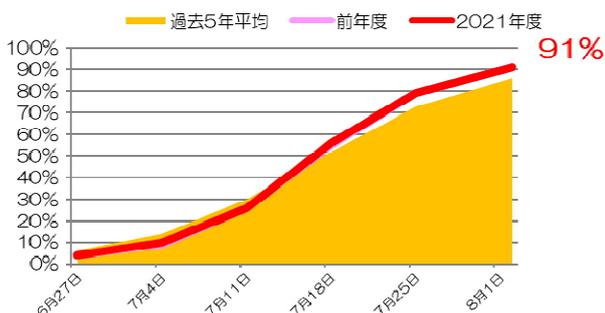
春小麦						
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
5月30日	4%	16%	37%	39%	4%	43%
6月6日	9%	16%	37%	35%	3%	38%
6月13日	9%	18%	36%	34%	3%	37%
6月20日	15%	22%	36%	25%	2%	27%
6月27日	14%	25%	41%	18%	2%	20%
7月4日	18%	32%	34%	14%	2%	16%
7月11日	21%	34%	29%	15%	1%	16%
7月18日	29%	34%	26%	10%	1%	11%
7月25日	32%	34%	25%	8%	1%	9%
8月2日	30%	34%	26%	9%	1%	10%
前年度	2%	4%	24%	60%	10%	70%

春小麦			6州
Harvested (収穫)	前年度	2020年度	過去5年平均
7月25日	1%	3%	2%
8月2日	4%	17%	8%

8月5日までの週の米国のトウモロコシのSilkingは91%完了。昨年は91%、過去5年平均は86%。Doughは38%完了。昨年は37%、過去5年平均は33%、トウモロコシの作柄は、優と良が62%で前週より▲2%低下。前年は72%。大豆の開花は86%完了、昨年は84%、過去5年平均は82%。着サヤは58%完了、昨年は57%、過去5年平均は52%。大豆の作柄は優と良が60%で前年の73%より少し悪い。冬小麦の収穫は91%完了、前年は84%、過去5年平均は86%。春小麦のHeadedは97%完了。昨年は96%、過去5年平均は97%。作柄は優と良が10%で前年の70%よりかなり悪く、不作である。

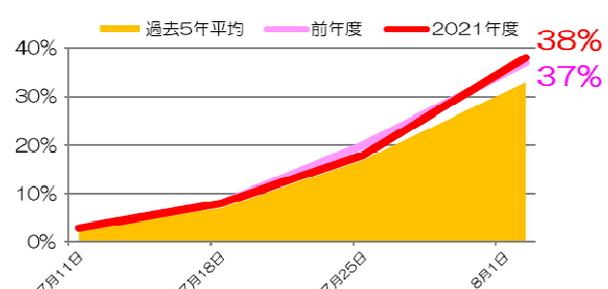
8月2日までのトウモロコシ

21/22年度の Silking 進捗状況



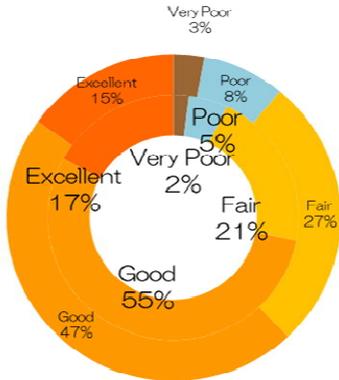
8月2日までのトウモロコシ

21/22年度の Dough 進捗状況

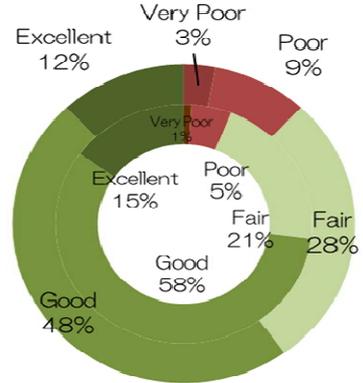




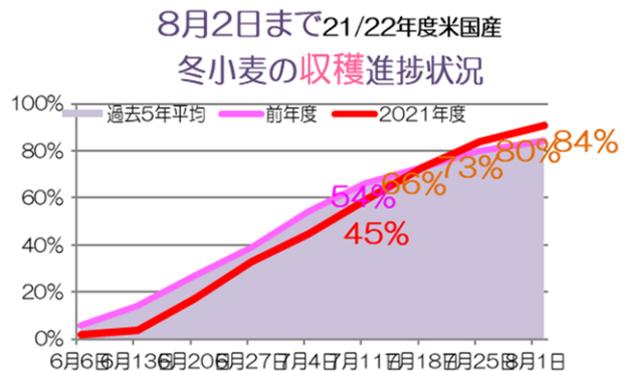
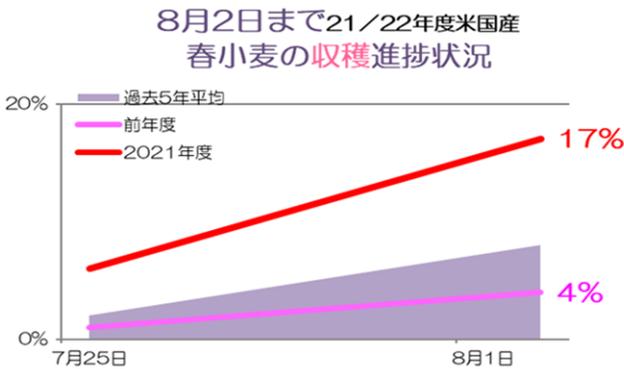
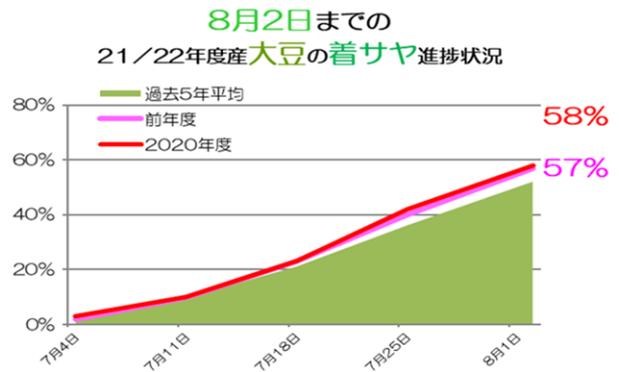
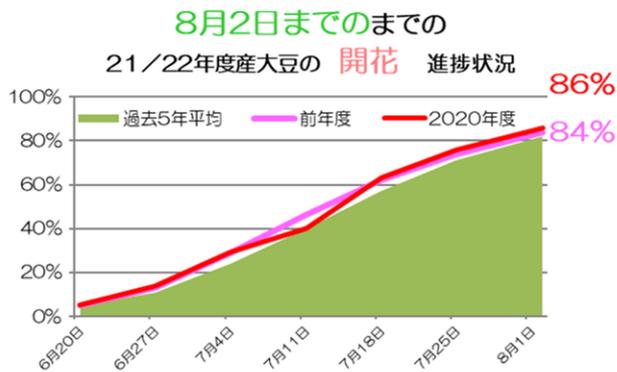
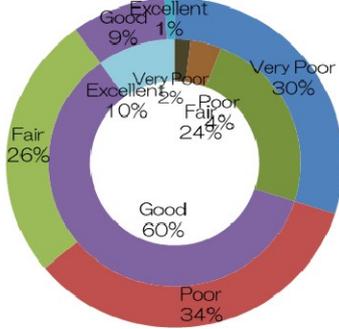
トウモロコシの作柄
(8月2日)
外側は2021年
内側は2020年



大豆の作柄
(8月2日)
外側は2021年
内側は2020年



2021年8月2日春小麦の作柄
(内側前年度；外側今年度)





TOPICS 2020年 米国の総農業生産支出 7月30日 by USDA

2020年は前年度比+84億ドル、+2.3%増

米国の農業生産支出は、2020年には3,662億ドルとなり、2019年の3,578億ドルから増加すると推定される。2019年 2020年の総農業生産支出は、2019年の総農業生産支出と比較して+2.3%増加した。17項目のうち、13項目が前年比で増加し、4項目行が減少した。

4大支出

4大支出は1,778億ドルで、2020年の総支出の48.5%を占めている。その内訳は、

- ① 飼料費が15.5%、
- ② 農業サービス費が12.2%、
- ③ 家畜・家禽・関連費用が10.8%、
- ④ 労働力10.0%となっている。

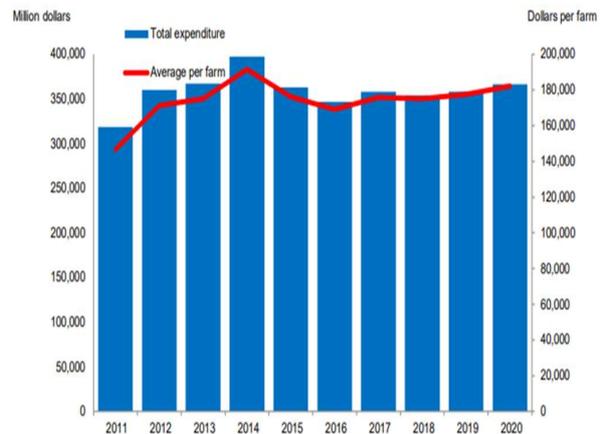
1農場当たり

2020年の米国の1農場あたりの総支出平均は18万2,130ドル（約1,987万円）、2019年の17万7,564ドル（約1,937万円）から+2.6%増加している。

また 米国の農場経営者は平均して、

- ① 飼料に2万8,250ドル（約308万円）、
- ② 家畜・家禽・関連費用に1万9,695ドル（約215万円）、
- ③ 農場サービスに2万2,232ドル（約231万円）、
- ④ 労働力に1万8,253ドル（約199万円）を費やしている。

2011年~2020年の米国農家の生産費用支出額推移（合計と農家平均）



エネルギー費用

最大の構成要素であるディーゼルは71億ドルで、64.0%を占めている。ディーゼル支出は前年比で▲10.1%減少した。ガソリンは20億ドルで、▲11.6%の減少。LPガスは▲11.0%減の13億ドル。その他の燃料は7億3,000万ドルで、+2.8%の増加。

売り上げクラス

2020年の米国の総支出に最も貢献している米国の売上クラスは 1,000,000ドル~4,999,999ドルのクラスで、支出額は1,164億ドルとなり、米国全体の31.8%を占め、2019年の水準である1,137億ドルから+2.4%増加した。

次に高いのは500万ドル以上のクラスで、979億ドルで、2019年の979億ドルから変化なし。

作物農場と畜産農場

2020年、作物農場の支出は+7.6%増の1,955億ドルに増加し、畜産農場の支出は減少しては▲3.1%減の1,707億ドルとなった。作物農場の支出で最も多いのは、労働力が270億ドル（13.8%）、農場サービスが262億ドル（13.8%）。サービスが262億ドル（13.4%）、家賃が251億ドル（12.8%）となっている。

化学薬品・肥料・種子代

農作物のインプット（化学薬品、肥料、種子）を合わせると 合計額は564億ドルで、農園の総経費の28.9%を占めている。



畜産農家の支出

畜産農家の最大の支出は、飼料費が552億ドル（全体の32.3%）、家畜・家禽・関連費用が380億ドル（22.3%）、農場サービスが185億ドル（10.8%）。これらの項目を合わせると、畜産農家の総経費の65.4%を占める。穀物農場の平均総支出額は208,571ドル（約2,275万円）であるのに対し、畜産農場の平均総支出額は160,203ドル（約1748万円）となっている。畜産農家の平均支出総額は208,571ドル（約2,275万円）。

地域としては西部が支出トップ

米国の総支出に最も貢献しているのは中西部地域で、1,128億ドル（30.8%）の支出があった。2019年の1,115億ドルから増加した。その他の地域は、総支出額のランキングでは、西部が861億ドル（23.5%）、中部平原地帯が853億ドル（23.3%）、大西洋地帯が442億ドル（12.1%）、南部が378億ドル（10.3%）となった。平野部は2019年から▲25億9,000万ドル減少し、地域別では最大の減少幅となった。

15州の合計支出額は、2020年に2423億ドル（全米の支出の66.2%）、2019年は2422億ドル（67.7%）だった。2020年の米国の総支出に最も貢献したのはカリフォルニア州419億ドル（11.4%）となった。カリフォルニア州の支出は、2019年の予想から▲1.8%減の42.7億ドルと推定される。次の有力州であるアイオワ州の支出額は285億ドル（7.8%）。他の州で支出総額が200億ドルを超えるのは、テキサス州の228億ドル、ネブラスカ州の203億ドル。

TOPICs Cattle on Feed（家畜頭数）7月23日 by USDA

米国の飼料用牛、1%減

米国における1,000頭以上の肥育場の食肉市場向けの牛と子牛の飼料は、2021年7月1日時点で1,130万頭。2020年7月1日より▲1%減少。

飼育頭数の内訳

★ 飼育頭数の内訳は以下の通り。698万頭の子牛と去勢子牛で、前年比▲1%減。このグループは全体の62%を占めている。
 未経産牛と未経産牛の子牛は432万頭で、2020年より2%減少した。6月のフィードロットへの入庫は167万頭で、2020年より7%減少した。正味の飼養頭数は61万頭でした。6月の体重600ポンド未満の牛と子牛の飼養頭数は34万5千頭だった。600～699ポンドが26万頭、700～799ポンドが37万5千頭、800～899ポンドが40万5千頭。900～999ポンドは19万5千頭、1,000ポンド以上は9万頭だった。6月の肥育牛の市場出荷量は202万頭で、2020年を3%上回った。その他の消失は、6月中に合計5万7千頭で、2020年を▲8%下回った。

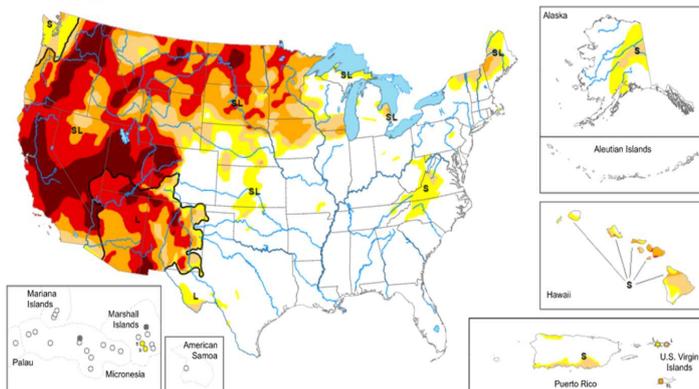


TOPICs 米国の天気

干ばつモニター

Map released: July 29, 2021

Data valid: July 27, 2021



★ 米カリフォルニア州、干ばつによる非常事態宣言の対象が50郡に拡大 7月26日 by JETRO

米国カリフォルニア州のギャビン・ニューサム知事は7月8日、干ばつの悪化や、米西海岸における記録的な高温を受けて、干ばつの非常事態宣言の対象郡に新たに9郡を追加する知事宣言に署名した。これにより、宣言の対象郡は50郡（注1）に拡大した。対象郡の人口は同州人口の42%を占める。また、同知事は同日、全ての住民に、自発的に水の使用量を2020年比で15%削減するよう求める知事令に署名した。

ニューサム知事は4月21日、州内の2郡（注2）に干ばつの非常事態宣言を出し、州政府の各機関に対し、干ばつからの回復力を強化し、地域・ビジネス・生態系への影響に備えるための迅速な行動を指示した。5月11日には、宣言の対象に39郡を追加し、計41郡が対象となっていた（2021年5月19日記事参照）。今回新たに対象に追加された9郡には、日系企業も多く所在する北カリフォルニアのサンタクララ（日系企業：約460社）やサンマテオ（約180社）も含まれる（注3）。

干ばつは、深刻度を増している。米国海洋大気庁などが発表している「米国干ばつモニター」のデータによると、7月6日時点で、カリフォルニア州の面積の8割以上で、干ばつの度合いが、5段階中2番目に深刻な「極度の干ばつ」（52.12%）、または、最も深刻な「類のない干ばつ」（33.32%）となっている（注4）。3カ月前は、「類のない干ばつ」に該当する面積は5.36%で、「極度の干ばつ」が30.06%だった。

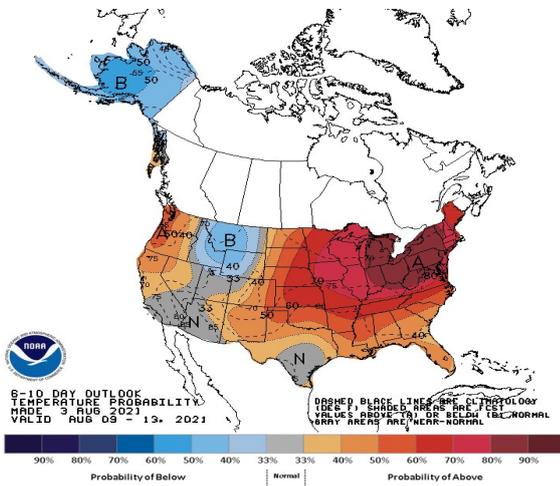
州政府は、知事令が求める15%の節水が実現できれば、年間170万世帯以上に十分に供給できるだけの水量を確保できると見積もる。住民の節水支援として、州の各機関は、地域の水道事業者と連携し、「Save Our Water」運動を展開している。同運動のウェブサイトには、自宅などで実行できる節水の方法などが紹介されている。州政府の発表によると、2012～2016年に干ばつが発生した際は、節水の呼び掛けに住民が対応した結果、住民1人当たりの水使用量を2013～2016年に21%削減したという。同州の干ばつの要因として、水源となるシエラネバダ山脈の雪不足に加えて、平均気温の上昇により夏まで雪が残らなかったことなどが挙げられている。

（注1）主要都市のサンフランシスコ郡、ロサンゼルス郡、サンディエゴ郡は現時点で非常事態宣言の対象にはなっていない。

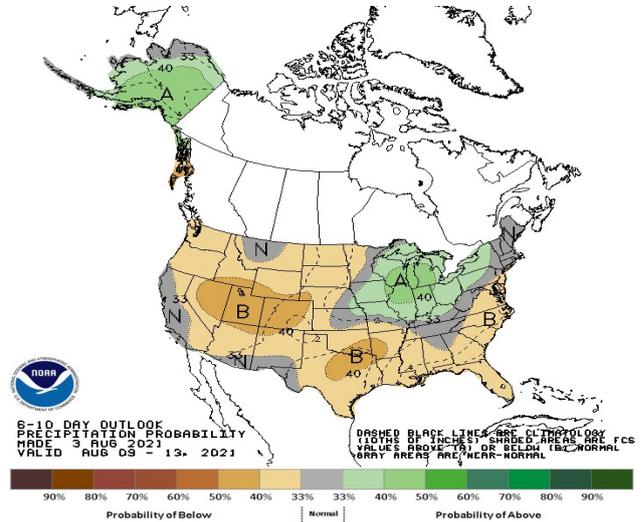
（注2）ソノマ、メンドシノの2郡。



6~10日予報 (気温)



6~10日予報 (降雨)



今後の予想

シカゴトウモロコシ価格は7月に入って横ばいとなっている。産地の天候はカリフォルニア州で干ばつとなっているが、これは例年のことで、今年は少しそれが過剰である陽で山火事が頻発している。トウモロコシ産地の中西部では気温は高いが、降雨もあり、生育に問題は出ていない。8月5日までの週のトウモロコシの作況はSilingが順調に終わって、Doughは38%完了。昨年は37%、過去5年平均は33%であった。トウモロコシの作柄は、優と良が62%で前週より▲2%低下しているが、60%以上なら問題ないと思われる。天候要因にそれ程波乱要因が無ければ価格も大きく変化することはないかもしれない。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス (以下「COMMi」という) が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行っており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。



発行元：

株式会社コモディティー インテリジェンス 〒181-0012東京都三鷹市上連雀1-1-5三鷹ロイヤルハイツ706号
会社電話：0422-56-9819 携帯電話 090-1628-0583 メールアドレス：kondo@commi.co.jp